

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 1 番 氏名 肥後 孝俊

答弁を求める者 (○をつける) 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

1 中学校部活動地域移行について

近年、全国的に注目を集めている中学校部活動の地域移行。浜田市においても、この重要な改革に向けた議論を深める必要があるのではないか。教員の長時間労働が社会問題化する中、部活動指導はその大きな要因の一つとなっている。特に、少子化が進む浜田市では、部員不足や指導者不足などの課題を抱えながら、教員が限られた時間で部活動指導に尽力している現状がある。しかし、部活動は生徒にとって、スポーツに親しみ、体力向上や人間形成を促す貴重な場であることも事実である。そこで、地域移行によって教員の負担を軽減しつつ、生徒のスポーツに打ち込む機会を確保し、地域全体のスポーツ振興につなげることが期待されている。これらを踏まえ、以下質問する。

- ① 部活動地域移行の必要性について伺う。
- ② 部活動地域移行によるメリットについて伺う。
- ③ 部活動地域移行における教育委員会の役割について伺う。
- ④ 本市の実情に合わせた部活動地域移行の具体策について伺う。
- ⑤ 部活動地域移行における支援策について伺う。
- ⑥ 部活動地域移行の開始時期について伺う。

2 住宅密集地における地震火災対策について

地震による火災のリスクを低減し、住民の安全を守るためには、感震ブレーカーの設置が重要である。特に、住宅密集地では、火災が発生すると延焼しやすく、被害が拡大する可能性が高いため、早急な対策が必要である。感震ブレーカーは、地震の揺れを感知して自動的に電気を遮断することで、電気火災の発生を抑制し、避難時間の確保や不在時の安全確保にも役立つ。行政は、地域住民の防災意識の向上を図り、感震ブレーカー設置を促進することで、災害に強い地域社会づくりを目指す上で一つの有効な手段と考える。これらを踏まえ、以下質問する。

- ① 住宅密集地での予測される災害について伺う。
- ② 感震ブレーカー設置に向けた啓発について伺う。

3 カーボンニュートラル実現に向けた施策について

本市におけるカーボンニュートラル実現に向けた施策は、地球温暖化対策として重要なだけでなく、市民生活の向上、地域経済の活性化にも大きく貢献する可能性を秘めている。そのためには、議会と行政が共通認識を持ち、協力して課題解決に取り組むことが重要である。また、市民への情報公開や意見交換の場を設けることで、市民参加を促進し、地域全体でカーボンニュートラルを目指していくことが大切である。さらに、長期的な視点に立ち、持続可能な社会の実現に向けた施策を推進していく必要がある。将来世代に負担を押し付けることなく、環境と経済が調和した社会を構築していくことが、浜田市の未来にとって重要である。これらを踏まえ、以下質問する。

(1) エネファームの導入について

- ① エネファームとはどのようなものか伺う。
- ② エネファームの導入による CO2 削減効果について伺う。
- ③ エネファームの導入による経済効果について伺う。

(2) CO2 フリー電力の導入について

- ① CO2 フリー電力の公共施設への導入による CO2 削減効果について伺う。
- ② CO2 フリー電力の公共施設への導入時期について伺う。

(3) 市民参加による取組について

- ① 4R (Reduce、 Reuse、 Recycle、 Refuse) 運動の具体的な取組内容について伺う。
- ② 市民参加によるカーボンニュートラル推進の取組について伺う。